

提案の背景

平成26年度さやま市民大学修了生が中心となり、狭山市の人口減少を食い止めるには、子ども達や若者らが『狭山をふるさと』と想える気持ちを醸成するのではないかと考えました。

そのためには、①狭山を知ること、②狭山を体験すること、③狭山で仲間を作ること、が重要であり、具現化するためには行政との連携が必要不可欠と考えています。

中長期計画

中長期の目標は、狭山ふるさと検定を立ち上げることです。検定事業はふるさと醸成の起爆剤になると確信しますが、キーワード「狭山ふるさと」の認知度を高める必要があります。また、検定を実施するためにはガイドブック（想定問題集）が必要となります。幸いにも、市民大学から受託した「狭山地域ふるさと学講座」で貴重な地域資源が得られるものと期待しています。

「狭山ふるさとO×クイズ」の実施は、検定に向けた第一歩です。

